

工事現場での情報管理を タブレット端末で省力化

土木工事や点検作業における図面の管理、報告書の作成など、
煩雑な作業のほとんどを現場で完了させることを実現。
「働き方改革」時代に合致したシステムを提供する。



「スパイダープラス」は工事
図面や写真の管理・共有
がペーパーレスでできるシ
ステムとして、急速に利用
が広がっている



配筋検査*2(写真)機能など、
顧客のニーズに合わせたさ
ざまなオプション機能を用い
ている

工事現場・点検作業現場の図面管理・情報共有システム「スパイダープラス」を開発・販売する株式会社レゴリスは、一般的なIT系企業とは異なる歴史を歩んできた。

同社の前身は、代表取締役社長の伊藤謙自氏が2000年に設立した有限会社ケイ・ファクトリーという断熱工事を行う会社。現在はレゴリスのエンジニアリング事業部として、冷凍施設などの保温・断熱工事を継続している。

同社がIT事業に参入したのは10年ほど前。「iPad」が発売され、クラウドという言葉が聞かれるようになった頃だ。当時、伊藤社長は、紙の図面の多さや積算作業に多くの時間がかかることを改善し、現場作業の効率化を図りたいと考えていた。そこでまず、社内用の積算システムを開発し、iPadで利用しようと試行錯誤していた。そんなとき、大手設備工事会社から声がかかり、積算システムについてプレゼン

テーションをすることになった。タブレット端末を利用してペーパーレス化を推進したいと考えていたその設備工事会社の会議に伊藤社長も参加し、求める機能をヒアリング。共同開発の形でシステムを開発し、これが後のスパイダープラスにつながった。

2011年に発売された「iPad2」にはカメラが搭載されたため、現場写真の撮影・添付も可能になった。市場で勝負できる内容になったと判断した伊藤

社長は、同年、スパイダープラスの外販に踏み切った。

現場でのニーズを 徹底的に把握する

他業界に比べIT化が遅れているといわれていた建設業界では、iPadの普及自体がなかなか進まず「当初5、6年は大赤字だった」と伊藤社長は振り返る。それでも、伊藤社長は機能のブラッシュアップを続けた。

ゼネコン、大手電機会社、サブコン*1などから現場の課題を聞き取り、汎用性や広がりのある機能と判断すれば、顧客企業と共同開発を行い、オプション機能を付加していった。例えば、風力、照度、水圧、温湿度などの各種検査に対応できる機能である。「お客様のニーズをまず聞き、解決することが重要」と現場を熟知する伊藤社長は説明する。

その後、人手不足や「働き方改革」により、建設業界にもITによる省力化が迫られるようになった。スパイダープラスは、従来なら事務所に戻ってから行っていた報告書の作成や大量の現場写真の整理など、作業の多くを現場で処理できるため、ここ数年サブコンや大手電機会社を中心に導入が急増している。現在およそ500社、3万人以

上がユーザーとなっており、標準機能は月額3,000円で提供している。

また、大手不動産デベロッパーがビルメンテナンス用途に導入したり、JRをはじめとする鉄道会社が駅舎の管理点検用に導入したりと、建設業界にとどまらず、点検現場を持つ業種に幅広く利用が拡大している。

同社の強みは、「顧客の要望を理解するスピードが速いこと」だと伊藤社長は言う。前述したように、同社は工事部門を持つ施工会社としての顔も持つため、現場で仕事をする人たちの要望や悩みが手に取るように分かるのである。

サポート体制の充実も大きな差異化要因になっている。営業スタッフがそれぞれの現場に出向き、作業員にその使い方をレクチャーするほか、社内のサポートチームがメールだけでなく電話で問い合わせに対応し、作業員の疑問をその場で解決する体制をとっている。こうした利用を促す丁寧なサービスがユーザー離れを防止している。

ユーザー数の伸びを背景に、同社は今後、開発要員を増員するとともに、AIを活用した機能の導入も検討している。また、東南アジア圏での海外展開や近い将来の株式上場も視野に入れている。

キャピタリストの眼

工事現場の問題を 把握できることが強み

「スパイダープラス」には、自社内に工事部門を持ち、現場を熟知する当社ならではの機能が盛り込まれています。現場・管理者・元請け・発注者間の情報共有が容易にできるため、それぞれの立場の人にメリットがあり、広い支持を集めています。

特にサブコンや地方のゼネコンに強く、今後もさらなる広がりが期待できます。また、オプション機能の選択肢が増えたことなどによってID当たりの単価も上がってきており、サブスクリプションモデルとしても非常に優れていると考えています。



SMBCベンチャーキャピタル株式会社
投資営業第二部部长代理
原田果意

Corporate Profile

代表取締役社長 伊藤謙自
所在地 東京都豊島区東池袋
1-12-5
創業 1997年9月
設立 2000年2月
<http://www.regolith-inc.jp/>

「これからは現場の課題を解決できるよう、機能のブラッシュアップを図っていく」と語る伊藤謙自代表取締役社長



*1 サブコン:ゼネコンの下請などとして、土木・建築工事の一部を請負う建設業者のこと。

*2 配筋検査:配筋とは、鉄筋コンクリート造の建物における鉄筋の配置のこと。鉄筋の配置と、寸法・数量・種別などが正しいかどうかをチェックすることを「配筋検査」という。